



『劔岳の三角点と測量官』

明治政府は、近代国家に不可欠な全国の正確な地図である5万分の1地形図を作るために、基準点網を全国に整備した。これらの基準点が、「三角点」「水準点」である。三角点の内、1等～3等までの約38,000点は、明治から大正にかけての測量官が設置した。劔岳を含む立山地域の三角測量は、柴崎芳太郎測量官が明治40年(1907)に担当となり26点の三角点が設置された。

これらの三角点には、固有名称が付けられており、地名等が選ばれている。また、三角点には、測量官と関連した、固有の名字があり冠字と呼ばれている。

■ 日時 平成27年7月9日(木) 16:00～17:30 **16時より**

※公演は、16:00～17:00

■ 会場 (公社)日本測量協会 第二研修室(文京区白山1-33-18 白山NTビル5階)

■ 講師 山田 明氏

(元) (公社)日本測量協会 機器検定部長

◆著書 劔岳に三角点を!(桂書房)

参加費 無料

CPDポイント 測量CPD1ポイント

定員40名

申し込み方法 申込はメールまたはFAXで事前登録が必要です

※氏名・所属(会社)・連絡先(電話・FAX)・メールアドレス・CPD登録番号(登録済みの方)を明記の上お送りください。

★申込先 E-mail : open-1c@jsurvey.jp FAX: 03-5684-3366

Tel:03-5684-3355(担当: 小林 俊雄)